

BE FREE!

原爆の残り火を、パレスチナへ

アースキャラバン2015

Earth Caravan 2017

「アースキャラバン2017」事業報告書



映画を見ている間は
何度も鳥肌が立ちました。
(17歳 高校生)

今まで
観たこともない
ドキュメンタリー
(40代 女性)

この映画は、
地球人の教科書!
(30代 女性)

観ていて
涙が止まりませんでした。
(20代 女性)

国籍の壁
宗教の壁
全部の壁
ぶち壊せ!

全国各地で絶賛上映中

- | | |
|--|--|
| <p>【上映実績】</p> <p>【北海道】 厚岸郡浜中町/温原の宿「霧多布里」(2017.01.08)</p> <p>【岩手】 一関市/スペース・イグ (2017.10.01)</p> <p>【山形】 鶴岡市/出羽庄内国際村 研修室 (2017.12.09)</p> <p>【宮城県】 登米市/手のひらに太陽の家 (2017.11.10)</p> <p>栗原市/くりこま高原自然学校 (2017.11.11)</p> <p>栗原市/かいめんこや (2017.11.12)</p> <p>【茨城】 土浦市川口/地球食堂てらすや (2016.12.08)</p> <p>【東京】 渋谷区/アップリンク 終戦記念日プレミア上映会 満員御礼 (2016.08.15)</p> <p>江東区/Organic Cafe LuLu (2016.09.02)</p> <p>江東区/聖救主教会 (2016.09.15)</p> <p>板橋区/ここ実ハウス (2017.06.25)</p> <p>八王子市/和方養生センター (2017.08.18)</p> <p>池袋/たまには TSUKI でも眺めましょ (2017.08.19)</p> <p>中野区/なかのゼロ 学習室 2 (2017.08.20)</p> <p>中野区/なかのゼロ 視聴覚室 (2017.08.31)</p> <p>杉並区/あるぼらん (2017.09.02)</p> <p>江東区/江東区文化センター (2017.09.03)</p> <p>新宿区/スペースレビア (2017.10.15)</p> <p>文京区/見樹院 (2017.10.28)</p> <p>新宿区/ASILE (シンカライナー) (2017.10.29)</p> | <p>日野市/カフェ畑 Renge (2017.11.04)</p> <p>【神奈川】 横浜市金沢区/カフェギャラリー&窯 ばおばぶ (2017.07.22)</p> <p>名古屋市北区/オフグリッド・ルーム (2017.09.04)</p> <p>【愛知】 彦根市尾末町/ほっこりカフェ 朴 (2017.02.23)</p> <p>【滋賀】 近江八幡市安土町/ショップ・マドレ (2017.06.29)</p> <p>彦根市尾末町/滋賀県護国神社参集所 (2017.09.03)</p> <p>高島市朽木生杉/山水人エコビレッジ (2017.09.01)</p> <p>【京都】 京都市中京区/立誠シネマプロジェクト (2016.10.29~11.04)</p> <p>京都市左京区/多目的カフェ かげのね (2017.03.12)</p> <p>京都市左京区/ナチュラルフードビレッジ (2017.06.22)</p> <p>京都市上京区/バザールカフェ (2017.08.31)</p> <p>【大阪】 大阪市北区/天劇キネマトロン (2017.04.29)</p> <p>【兵庫】 神戸市灘区/健康道場サラ・シャンティ (2017.05.01)</p> <p>西ノ宮市神園 (2017.08.05)</p> <p>【広島】 広島市南区/広島市留学生会館 (2016.08.04)</p> <p>広島市安佐北区/文教女子大 (2017.01.18)</p> <p>広島市中区/ウェンディひとまちプラザ (2017.07.06)</p> <p>尾道市土堂/チャイサロンドラゴン (2017.07.10)</p> <p>【長崎】 諫早市新道/本願寺長崎教区教務所 (2017.06.29)</p> <p>長崎市興善町/日本福音ルーテル長崎教会 (2017.06.30)</p> <p>【福岡】 北九州市門司区/シャッチョビル (2017.07.02)</p> |
|--|--|



Japan Event 京都: 5/3 (水) - 5/4 (木) 広島: 7/8 (土) - 7/9 (日)
 東京: 9/9 (土) - 9/10 (日) 東広島: 7/11 (火)

Overseas Event 中東: 7/31 (月) - 8/6 (日) カナダ: 8/17 (木) - 8/24 (木)

「分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE!」

特定非営利活動法人アースキャラバン

上映会、開催できます。詳しくはホームページで <http://www.earthcaravan.jp/befree>

Earth Caravan 2017 事業報告

【目的】 人種、宗教、国籍、思想、信条などを超えて、地球に生きるすべてのいのちを大切に、紛争や戦争のない平和な世界の実現を目指して、「分かち合おう地球を、幸せと自由を SHARE!」をテーマに、他文化を理解し相互理解を深めるために Earth Caravan 2017 (アースキャラバン) を実施します。

【期間】 2017/4/25 (広島) ハノーバー庭園
2017/9/10 (東京) 木場公園

【主催】 特定非営利活動法人アースキャラバン (理事長 野本祐子)

【後援】 広島市、長崎市、京都市、東広島市、江東区、朝日新聞社、毎日新聞社、京都新聞、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、KAMON ケーブルテレビ、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(公財)広島県就労振興センター、(公財)東広島市観光協会、きょうされん広島県支部、(一社)江東区観光協会

【協賛】 SUND SUN CREATIVE、cafe 火裏蓮花、焼にくや いちなん、(株)安全農産供給センター、佐井鋼(株)、(株)朝倉機械製作所、紙芝居童話ハウス、日本国際テコンドー協会、(株)SYD、(株)フリーサイト outdoorcafe テント、社会福祉法人聖救主福祉会まこと保育園、タオ療法、江東 YMCA 幼稚園、京都ニンジャムキッズ、自転車屋ノットナル、はなみずき治療院、わくせいサンガエコガーデン、(株)イワミツアー広島支店、オリエンタルホテル広島、広島車いすダンスくらぶ、福祉作業所メロディ、福祉車専門店オレンジ、第一食品工業(株)、食の宿 霧多布里、(株)真南風、百姓道場、天規料理英会話、AREEBA、ショップマドレ

【発起人】 遠藤暁及 (えんどう りょうきゅう: 浄土宗和田寺住職・ミュージシャン・タオ指圧創始者)

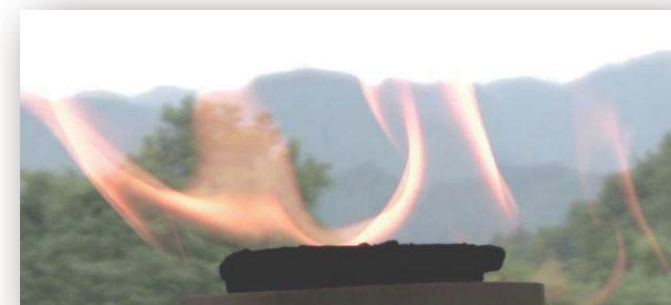
【概要】

2015年、平和へのシンボルである広島原爆の残り火「平和の火」を携えて、被爆地・広島からアースキャラバンはスタートしました。日本国内～ヨーロッパ、北米、中東各地を平和へのメッセージを発信しながらキャラバンし、最終地である中東の聖地エルサレムで世界で初めて「平和の火」が灯され、イスラム教、キリスト教、ユダヤ教、仏教の4つの宗教の宗教者が一同に会し、人類平和のための祈りと声明を発表しました。

そして2016年、2017年へと、アースキャラバンは進化しつづけています。今回のアースキャラバン2017では、ピースコンサート、シェアマーケット(チャリティーマーケット)を中心に、京都、広島、東広島、東京でイベントを実施いたしました。その後、パレスチナ現地で支援活動を行うためのアースキャラバン中東を行い、北米でのアースキャラバンを経て、世界各地で相互理解のための場を創造。人種や国籍、宗教を超えて、他文化への理解を深めることができました。集まった支援金は、戦争や紛争、災害で傷ついた人々へ寄付しました。

【全体行程】

田上長崎市長、松井広島市長より、アースキャラバンへ力強いメッセージをいただきました。2017年4月25日、平和への願いを世界に伝えるために、広島原爆の残り火である「平和の火」を携え、広島市からピースサイクリング・チームが出発。「Earth Caravan 2017」がスタートしました。5月3日、イベント前日に無事京都到着。2日間に渡るイベント会場で「平和の火」が灯され、「ヒバクシャ国際署名」とともに、多くの人々に平和の大切さを訴えました。さらに6月後半、広島被爆二世の本岡晃浩さんが被爆地長崎から次のイベント開催地広島市をめざして出発。途中、教会やお寺、小学校を訪問し地元の人々と交流。中東へ持って行くピースフラッグにたくさんの方々の平和メッセージが書き込まれました。7月8日、9日に広島、7月11日に東広島でイベントを開催。7月31日、中東パレスチナ現地での支援活動に、国内外より約30名が参加。パレスチナで最初に開設された難民キャンプや障がい者施設等で活動しました。また、ヨルダン川西岸地区にて、井戸の浄化作業を行ったり、破壊が繰り返される村の道路を整備しました。



パレスチナ自治区内ベツレヘムでは、「Holy Land Trust」で2日間に亘って「JAPAN DAY」を開催し、日本文化の紹介やライブ演奏を行いました。8月6日の広島原爆投下の日には、ベツレヘム自然歴史博物館のホールで、キリスト教、イスラム教、ユダヤ教、ヒンズー教、仏教等、異なる宗教者同士が宗教の壁を超えて祈る合同式典を開催。戦争で亡くなった方々を追悼し、平和への願いを強め、共に世界の平和の実現を誓い合いました。8月14日から1週間はカナダ・ケベックでアースキャラバン・ウィークを実施。その後日本へ戻り、8月31日、平和の火・ピースサイクリングが京都を出発、9月9日、10日に東京でイベントを実施し「アースキャラバン2017」の幕を閉じました。

Earth Caravan ピースサイクリング

【日程】 第一弾: 4月25日(火)～5月2日(火)

広島/ハノーバー庭園 ～ 京都/梅小路公園

第二弾: 6月30日(金)～7月6日(木)

長崎/日本福音ルーテル長崎教会 ～ 広島/原爆ドーム前

第三弾: 8月31日(木)～9月9日(土)

京都/バザールカフェ ～ 東京/木場公園

【協力】 圓立寺(諫早市)、日本福音ルーテル長崎教会(長崎市)、滋賀縣護國神社(彦根市)、名古屋モスク(名古屋市)、日本経済新聞社、毎日新聞社、中国新聞社、山口新聞社、西日本新聞社、長崎新聞社、中日新聞社、東愛知新聞社、滋賀彦根新聞社、静岡新聞社、仏教タイムス社、静岡第一テレビ、中京テレビ放送、桜丘学園(豊橋市)、鈴が峰小学校(広島市)、ご協力いただいたすべての方々。

【宿泊先提供】

越智様(諫早市)、カジタ様(北九州市)、三宅様(倉敷市)、普門寺(赤穂市)、サラ・シャンティ(神戸市)、祖牛様(高島市)、とばや旅館(彦根市)、法伝寺別院(静岡市)

【概要】

福岡県星野村に今も灯され続けている広島原爆の残り火「平和の火」を携えて、各地で平和へのメッセージを発信しながら、長崎から東京まで自転車で走りました。サイクリングの途中、様々な宗教施設(仏教、キリスト教、イスラム教、神道)を訪ね、平和への熱いメッセージをいただきました。

また鈴が峰小学校(広島市)、桜丘学園(豊橋市)を訪問し、平和教育の一環としてスピーチを行い、生徒のみなさんから応援とピースメッセージをいただきました。

アースキャラバン2015のドキュメンタリー映画

「BE FREE!」の各地上映会にも参加し、来場者のみなさんに

「平和の火」に触れていただきました。そして戦争のない明るい世界、希望の持てる未来になることを共に祈りました。

今回、西日本新聞社、毎日新聞社、中国新聞社、山口新聞社、長崎新聞社、中日新聞社、静岡第一テレビ、中京テレビ放送ほか、たくさんのメディアに取り上げていただきました。



【平和の火とは?】

1945年8月6日広島に投下された原爆の残り火です。福岡県星野村出身の山本達雄さんが、原爆投下からひと月あまり後の焦土と化した広島で、くすぶり続けていた火を、亡くなった叔父さんの遺骨の代わりとしてカイロに移して持ち帰りました。火はそれから23年にわたって山本さんの手で保管された後、星野村に引き継がれて燃え続け、今日に至ります。



Earth Caravan 2017 京都



- 【日時】 5月3日(水)～4日(木) 10:00～17:00
- 【会場】 梅小路公園 水族館前 野外ステージ周辺
- 【共催】 グリーンフェア
- 【協力】 おんらく市場、京都ニンジャムキッズ、NPO 法人プライトミッション、NPO 法人スウィング、PEACE ON
- 【協賛】 (株)安全農産供給センター、cafe 火裏蓮花、佐井鋼(株)、SAND SUN CREATIVE、焼きにくや いちなん、京都ニンジャムキッズ、自転車屋ノットナル、ショップ マドレ、わくせいサンガ エコガーデン、AREEBA



【概要】
「人生をアートに！～無数の個性を輝かせよう～」をテーマとして、約1万人の来場者と共に、2日間平和のお祭りを創り上げました。ピースサイクリングによって運ばれてきた「平和の火」は、ステージや本部ブースに設置され、多くの方が火の前で立ち止まり、平和の尊さを考える機会となりました。また、核兵器廃絶のための「ヒバクシャ国際署名」ブースを設置し、たくさんの方々からご署名いただきました。



◆シェアマーケット：売上の50%～100%を寄付していただくシェアマーケットでは、48店舗（うち啓発ブース10店舗）が出店しました。アースキャラバンの支援先であるパレスチナやバングラデシュの郷土料理をはじめとした多彩な食関連ブース、様々な国や地域の特産品や民芸品の販売など、来場者に多様な国の文化に触れていただくことができました。

◆啓発ブース：視覚障がい体験、ガイドヘルパー体験、車椅子体験などを通じて、障がいのある方の日常を理解するきっかけになりました。

◆ワークショップテント：フリースクールやホームスクーリングについて、薬や医療に頼らないからだ作りについて、それぞれ講師を招いて質疑応答を交えながらのお話会や、脳性まひにより電動車椅子で活動されている方と先住民であるアイヌの方とで「いのちと平和」についてのお話会を行いました。また、心の持ち方からだか変化することを体験する「親と子の気のワークショップ」も開催し、子育て世代を中心にたくさんの方が集まり、情報交換や交流の場となりました。

◆キッズコーナー：
「こどもボランティア体験」コーナーでは、会場のゴミ拾いやエコ食器の血洗いなどに2日間で約60人の子供たちが参加され、いきいきとした笑顔が会場内に溢れました。

◆ピースコンサート：2日間で13組のアーティストが出演。沖縄、アイヌ、アラブ、盆踊りなど、地域や民族、宗教の違いを超え、子どもも大人も、障がいのある方もない方も、会場にお集りくださった皆さんと共に歌い踊りました。それぞれが平和への願いを表現しつつ、出演者も観客もひとつになって楽しんだ2日間でした。



Earth Caravan 2017 広島



- 【日時】 7月8日(土)～7月9日(日) 11:00～17:00
7月8日(土) 18:30～20:30 (ピースキャンドルナイト)
- 【会場】 中央公園内 ハノーバー庭園
- 【協賛】 (株)イワミツアー広島支店、オリエンタルホテル広島、広島車いすダンスくらぶ、福祉作業所メロディ、福祉車専門店オレンジ、第一食品工業(株)
- 【協力】 広島市立鈴が峯小学校、デイサービス愛21、高陽学園、浜田市



【概要】被爆地である広島では、高校生をはじめとするボランティア40名が参加し、主催者が驚くほどの意欲的な取り組みで、会場の雰囲気盛り上げていただきました。2日目の朝に強く降っていた雨も、お昼からはすっかり上がり、約2000人の来場者で賑わいました。会場に設けた広島原爆の残り火「平和の火」ブースには、若い方を含むたくさんの方々の手を合わせにられました。さらに海外を含む多数の方から核兵器廃絶のための「ヒバクシャ国際署名」にご協力いただき、平和への願いが、この世界に広がっていることが実感できた2日間でした。

◆シェアマーケット&ピースコンサート：「楽しさいっぱい！幸せと自由を分かち合おう」を合い言葉に、出店27店舗、出展・ワークショップ12店舗、地元で活躍するアーティストや出演団体15組（個人2組含む）が参加。様々なかたちで平和への想いを表現していただきました。

◆ピース・キャンドルナイト：8日夕方から、ボランティアの方が中心となって準備が進められ、平和へのメッセージが書かれた紙を1つ1つ貼付けた約1000本のキャンドルに「平和の火」からの灯りをともし、「PEACE」の文字が暗闇に浮かび上がりました。アミナダブ（遠藤暁及のユニット）の演奏が流れる中、その幻想的な美しさに、会場の誰もが思わず足を止め、鎮魂と平和の祈りを捧げました。



Earth Caravan 2017 東広島



- 【日時】 7月11日(火) 10:00～12:00 (第一部)
18:30～21:00 (第二部)

- 【会場】 第一部：サルディーニャリゾート
第二部：西条公会堂

- 【協力】 FM 東広島

【概要】7月11日東広島市内のライブハウスなど2カ所で、アースキャラバン発起人・遠藤暁及の音楽ユニットである「アミナダブ」と地元で活躍するアーティストにより、原爆の残り火「平和の火」をキャンドルに灯した会場で、平和の祈りを込めたキャンドル・ライブが開かれました。ライブの前の7月9日には、FM 東広島「青春リフレイン」の番組内で、発起人の遠藤暁及が電話インタビューで約10



分間出演し、この時の放送を聞いてアースキャラバンを知り、キャンドル・ライブに足を運んでくださった方もいらっしゃいました。「平和の火」によるピースキャンドルと共に、ライブの音楽空間にいらっしゃる皆さんとともに、平和を祈る時間を持つことができました。また、地元のアーティストの皆さんや会場をご提供いただいた方々との交流も深まり、核兵器のない平和な世界の実現を願うつながりが生まれました。

Earth Caravan 2017 中東



【日時】 7月31日(月)～8月6日(日)
【活動地域】 イスラエル、パレスチナ自治区
 (ヨルダン川西岸地区)
【協力】 Holy Land Trust (キリスト教系人権団体)、
 ベツレヘム自然歴史博物館、タオサンガ・イスラエル、
 アル・アカバ村、人権ラビの会、イエスシアター、
 タオ指圧協会インターナショナル

【概要】
 ◆現地支援活動：イスラエルの入植者から不当な扱いを受けているヨルダン川西岸・ウジャ村のベドウィン(羊飼いの)遊牧を支援する人たちのいる場所へと足を運びました。井戸の浄化作業を行い、手作業で泥を取り除き、水が湧き出てきたときは、みんなで喜びを分かち合いました。その後、ヨルダン川西岸地区フム・エルヒール村でも、現地の人やサポート団体と共に、イスラエル軍に



よって工事が規制されている道路の整備作業を手伝いました。作業の後、キャラバンのテーマソング「BE FREE PALESTINE (パレスチナよ、自由になれ)」を大合唱。そこにいた子どもたちが大喜びで踊り出し、現地の人たちにも笑顔がこぼれました。アル・アカバ (Al-Aqaba) 村では、ハーブやお茶、チーズの小さな工場を見学し、イスラエルにより行動を制限された状況下でも、懸命に働くパレスチナ人たちの姿に心を打たれました。ベツレヘム・アイダ難民キャンプ(パレスチナ最古の難民キャンプ)の中の「ノア障がい者センター」や、「デーシャ (Deheisha) 難民キャンプ」を訪れ、厳しい環境の中で心や身体に障がいを抱えた子ども達と、彼らを支え続ける若い先生たちと共に、タオ療法(指圧)や音楽、持参した浴衣で交流し、笑顔が溢れました。アースキャラバンは各地で難民キャンプの子ども達に大歓迎されました。8月6日の広島原爆の日には、ベツレヘム自然歴史博物館で、マジン博士のパレスチナ問題の本質に迫るお話を聞くことができました。その後、キリスト教、イスラム教、ユダヤ教、ヒンズー教、仏教等の異なる宗教者同士が合同で祈り捧げる式典を開催し、戦争で亡くなった人々を追悼し、世界平和の実現を誓い合い、1週間の現地支援活動が終了しました。



◆チャリティーフェスティバル：ベツレヘムにある、キリスト教系の人権団体「Holy Land Trust」において、2日間に亘って日本文化を紹介するチャリティーフェスティバル“JAPAN DAY”を開催。特にお寿司、お茶、書道、指圧のブースは盛況でした。三味線などの音楽や踊りのステージも大好評で、現地の方々への日本文化への関心の高さに驚かされました。フェスティバルの収益はすべて同団体に寄付させていただきました。

◆浄水プロジェクト：パレスチナ・ガザ地区では、イスラエルによる規制で新鮮な水が入手できず、95%の水が汚染されているといわれています。ユネスコによれば、生活環境の悪化が進んで 2020 年には人間が生存できなくなる、とすら予想されています。NPO 法人アースキャラバンでは、ガザ在住のアハメッド・タワヒナ医師 (Dr. Ahmed

Tawahina)からの要請を受け、ガザの子どもたちに安全な水を届けるプロジェクトを始動させました。井戸は深く掘ることを許されず、井戸水には高濃度の塩分(硝酸塩や海水など)や汚染物質が混ざっており、そのため、子どもをはじめとして住民の間では病気が蔓延していて、早急に脱塩、浄化した安全な飲み水を届ける必要があります。NPO 法人アースキャラバンでは、塩分濃度を下げて浄化する脱塩浄水器(1台約 130 万円)を導入する予定です。ラマラとガザに事務所のある Marwanco という会社が扱っている脱塩処理装置一台で、1日に約 1000 人分の飲料水を供給することが可能になります。

【主なスケジュール】

- 7/31 ベドウィン村、エルサレム旧市街 訪問。
- 8/1 占領地・東エルサレム 分離壁ツアー。
- 8/2 ヨルダン川西岸地区ウジャ村、羊飼いの場へ。アル・アカバ村近くの井戸堀りの手伝い。
- 8/3 ベツレヘム・アイダ難民キャンプ(パレスチナ最古の難民キャンプ)、ノア障がい者センター 訪問。
- 8/4 南ヘブロン、ベドウィン族の村、ヨルダン川西岸地区フム・エルヒール村での道路整備作業。
- 8/5 デーシャ難民キャンプ、障がい児リハビリセンターにて活動。
ベツレヘム・Holy Land Trust にてチャリティーフェスティバル“JAPAN DAY”開催。
- 8/6 “JAPAN DAY”2日目 開催。

Earth Caravan 2017 ケベック Canada



【日時】 8月18日(金)～24日(木)

【活動地域】 ケベック北部。
 ナタシュクアン、ミンガン両北アメリカ先住民
 イヌー・ネーション居留地

【協力】 ケベック・イヌー・ネーション・コミュニティ、
 Montreal Korean Japanese food inc

【概要】 北米先住民族であるイヌー族の居住地で、アースキャラバン発起人の遠藤暁及が創始したタオ指圧や気心道をメインに、コミュニケーションや気のワークショップ、また子どもたちのためのアートクラスを実施し大盛況となりました。会話サークルにおける35歳以下の方との集まりでは、どのような心情で居住区の若い人たちが日々生きているかということを知らせていただき、より理解を深めるための時間を共有することができました。その後、4回の会食を企画し接するうちに、お互いうち解けて、ジョークを言い合ったり、歌やダンスでなごやかな楽しい時間を過ごし、交流を深めました。居住区では日常的に暴力、薬物・アルコール依存、自殺などが頻発しており、居住区のリーダー達は日々こころを痛めて、その対処に追われているのが現状です。約300年の間、先住民でありながら4世代に渡って差別に苦世界から忘れられたかのように置き去りにされている状況です。今後も様々な交流を続け、自立のための支援につながるよう、寄り添いながらケアを続けていきます。



【日時】 9月9日(土)、10日(日) 11:00~17:00

【会場】 江東区・都立木場公園イベント広場

【協賛】 (株)朝倉製作所、(株)SYD、日本国際テコンドー協会、はなみずき治療院、天規料理英会話、食の里霧多布里、百姓道場、(株)真南風、紙芝居童話ハウス、タオ療法、(株)フリーサイト outdoorcafe テント、社会福祉法人聖救主福祉会まこと保育園、江東 YMCA 幼稚園

【協力】 深川資料館通り商店街、シャンティつくば・山崎修様

【概要】 アースキャラバン 2017 のフィナーレとなった

「アースキャラバン東京」。ピースサイクリングの最終走者は今年全国を巡った被爆2世の本岡晃浩さんと、福祉専攻型「シャンティつくば」の皆さん、障がいを持つメンバーで構成されたバスケットボールチームの「スマイル」のメンバーの方々。9日の到着セレモニー会場ではあたたかい声援に迎えられてゴールしました。また、この日のピースキャンドル・セレモニーでは、長崎被爆者の田中照巳氏(日本被団協代表委員)に登壇いただき、核兵器廃絶の現状について、また平和への願いのメッセージをいただきました。エンディングでは、田中氏の合図で、平和への願いを込めて、全員の手に分火された「平和の火」のキャンドルを一齐に吹き消しました。



◆シェアマーケット：40を超える飲食ブース、物販ブース、ワークショップや癒し体験ブースなどの他に、「べてぶくろ」「てあとのみのり」「新宿福祉作業所」や「オアシスプランニング」、また視覚障がい者のランナーの伴走活動をしている「バンバンクラブ」など、障がいのある方が住みやすい社会の実現をめざして活動されている団体の出店も多く、アースキャラバンを通じて平和のためのチャリティー活動をしていただくことができました。

◆お話&ワークショップブース：さまざまな分野でユニークな活動、第一線で活躍している方を招いて、世界の現状を知ったり、障がいのある方々のお話を伺ったり、健常者・障がい者が一緒になって行うヨガなども行なわれ、たくさんの方が参加される人気のブースとなりました。イベント会場中央に設置した「平和の火」ブースでは、子どもたちによって、ピースフラッグへのイラストや平和へのメッセージが書きこまれ、平和への願いを込めた折り鶴づくりを行いました。原爆の残り火である「平和の火」に込められたメッセージを伝えつつ、核兵器廃絶のための「ヒバクシャ国際署名」の活動も行いました。

◆ピースコンサート：ステージでは、ペルーの伝統ダンス「マリネラ」を披露していただいたり、韓国の伝統楽器、アイヌ音楽など、さまざまな文化の交流の場となりました。また、元ホームレスや現役ホームレスの方々によるダンスグループ「ソケリッサ」によるダンスなど、バラエティ豊かなステージとなりました。最終日のフィナーレでは、イスラム教、ユダヤ教、キリスト教、仏教の4つの宗教者が「平和の火」を前に平和へのメッセージと祈りを捧げ、会場全体が1つになって、全員でアースキャラバンのテーマソング「SHARE!」を歌い、2017年の幕を閉じました。



1. パレスチナ支援

1) ガザ地区 浄水プロジェクト基金 761,850円

ガザの水事情は大変悪く、井戸も公共の水道も塩分濃度が高く、また高レベルの硝酸塩(体内で亜硝酸塩という有害物質に変化し、乳幼児には死の危険も)、重金属、フッ素など様々な化学物質や細菌で汚染されています。飲用に使えません。原因はイスラエル占領軍によって掘る井戸の深さが制限されているためです。腎機能障害、心不全、神経学的症状、嗜眠および高血圧などの病気に罹患する人が多く、子どもたち全員が腸管寄生虫に犯されています。人々はやむなく脱塩プラント事業者から水を購入しますが高価で、貧しい家では収入の三分の一を水の購入に当てなければならないほどです。ユネスコによれば95%の水が汚染されており、2020年には人間の生存そのものが不可能になるといわれる状況です。



アースキャラバンは2015年に、イスラエル軍による爆撃でトラウマを負った子どもたちの心の癒しの為に活動しているガザ在住の医師、アハメッド・タワヒナ氏に1500ドルの支援を行いました。そしてこの度、ガザの水事情を聴き、タワヒナ氏が運営するセンターに脱塩浄水機器を設置するプロジェクトを始めました。設置後は、1日2時間という非常に制限された電力供給時間内の稼働でも、約1000人に安全な水を届けることができます。

2) フム・エルヒール村 道路整備作業のために砂利を購入

1000ILS* (32,000円)

*イスラエルの通貨単位シェケル



パレスチナのC地区(イスラエルが行政・治安を担当する地域)と呼ばれている地域の村民の生活は日常的に検問・封鎖・軍事侵攻の危険に曝されています。パレスチナ人は、自分が所有している土地であっても家を建てるのが、イスラエル政府から許されません。建てた家はイスラエル軍によって破壊されます。村の道路が整備を必要としても、トラックやブルドーザーを使用すると、

イスラエル警察に逮捕されます。村人は、スコップなど人力によって道路の整備をしなくてはなりません。しかし男たちは働きに出ているため労働力が足りず、砂利などの購入費も不足しています。アースキャラバンはイスラエル人権活動家ガイ・ヒルセフェルド氏のコーディネートによって砂利を購入し、パレスチナ人に加えて、アメリカのキリスト教団体、イスラエルの人権活動家等と共に汗を流し、村の道路を整備しました。



「アースキャラバンの皆さんは、イスラエル軍が多くの井戸を破壊したことによって水不足に苦しむパレスチナ人のため、早朝から、湧き水井戸の掃除をお手伝い下さいました。さらに、イスラエル政府による弾圧政策によって修復もままならないパレスチナ人の村の道路を、炎天下の中、皆さんの手で土整備して下さいました。私はシンプルに言いたい。皆さんの労力にありがとう、と。



ヨルダン渓谷に暮らすパレスチナ人のための活動を、私は今後も自らの使命として続けていきます。アースキャラバンの皆さんが、またこの地に戻ってきて下さる日をお待ちしています。心から感謝申し上げます。」



ガイ・ヒルセフェルド (タユージュ・グループ リーダー)

※イスラエル人でありながらパレスチナ人の人権を守る活動を続けるタユージュ・グループに、現在、アースキャラバン有志で月\$250の支援を行っています。

3) デーシャ難民キャンプ (障がい児リハビリセンター)



車椅子、補聴器などの備品の補助として **1000USD (113,000 円)**

昼食提供代として **950ILS (30,400 円)**



ベツレヘム郊外にあるデーシャ難民キャンプの中にある障がい児リハビリセンターを訪問しました。午前中、約100人の子どもたちと、歌や踊り、浴衣の着せ替えや折り紙、タオ指圧などで交流し、その後、大喜びの子どもたちに昼食を提供し、メンバーも一緒にいただきました。最後に寄付金の贈呈式を行い、車椅子や補聴器などの購入補助金として、所長に1000USDを手渡しました。



「アースキャラバン中東2017の体験は、私にとって昨年同様、とても興味深いものでした。私は、アースキャラバンの皆さまが私たちパレスチナ人に寄り添い、支援活動して下さる様子を年々目の当たりにしています。皆さまがかもし出す温かい空気の中、デーシャ難民キャンプ (ベツレヘム郊外) の子どもたちは、とても開放的でユニークな体験をすることができました。障がい児と健常児、合わせて100人以上の子どもたちが、折り紙、着物、指圧、音楽、踊りなど、日本文化を心ゆくまで楽しみました。さらに車椅子や補聴器などを購入するための支援金として、\$1000のご寄付を頂きました。障がい児センター職員一同、心より感謝申し上げます。皆さまと共に活動できることは私の喜びです。来年もまた、お会いできることを願っています。」 スライマ・ラマダン



4) ベツレヘム自然歴史博物館 異宗教合同慰霊祭の昼食提供代



730ILS (23,360 円)



8月6日 (広島原爆投下日) に、ベツレヘム大学教授のマジン博士が運営する、「ベツレヘム自然歴史博物館」のホールで、異宗教合同慰霊祭「平和の祈り」を行いました (参列者約60人)。式典後は、アースキャラバン代表の遠藤暁及、地元のイスラム教徒、キリスト教徒、それぞれの代表によるスピーチがあり、最後にアースキャラバンのテーマ曲「SHARE!」を全員で合唱。お昼は庭の木陰で食事を共にしながら、語り合いました。



5) アル・アカバ村 太陽光発電装置の設置

3000USD* (339,000 円)

*「アースキャラバン・ヨーロッパ」による支援

アル・アカバ村に住むパレスチナ人家族の中には、自分の土地であるにも関わらず、イスラエル軍の演習場の区域の中に入れられてしまった人たちがいます。彼らはイスラエル政府によって電線を引くことも電気の購入も許されず、夜はランプの灯りのうす暗い中で生活してきました。夜間演習の際、暗闇の中で一般の家屋があることを認識できないイスラエル兵の銃弾が飛び込んで来ることもあるなど、危険な生活を強いられています。アースキャラバンは、村長のハジュ・サミー (Haj Sami Sadeq) 氏の要請を受けて、太陽光発電装置の設置資金を支援しました。「家の中も外も明るくなり、夜になると銃弾が撃たれるのではないかとという恐怖から解放され、子ども達が勉強や読書もできるようになったと大変喜んでます」との報告を、現地からいただきました。



「アースキャラバンの皆さまへアル・アカバ村を訪問して施設を整備し、またピースアートの壁絵を描いて下さり、ありがとうございました。さらに村の家族に、太陽光発電の装置一式 (\$3000) を寄付して下さい、心より感謝申し上げます。設置したのは、イスラエルが軍事区域として定めた境界に住んでいる家族です。彼らの家にはイスラエルによって送電が禁止され、夜間に照明がありませんでした。そして闇の中でイスラエル軍が演習発砲するため、家は常に危険にさらされていました。しかし、寄付によって設置した太陽光発電のおかげで電灯がつくようになり、家はより安全になりました。また、子どもたちが日が暮れてからも勉強や読書ができるようになり、とても助かっています。

家族の幸せな様子は、写真からもわかりいただけることと思います。
ご支援頂き、本当にありがとうございました。」
ハジュ・サミ村長（アル・アカバ村）



6) キリスト教系人権擁護団体「Holy Land Trust」運営費



2108.5ILS* (67,472円) *チャリティーフェスティバル「JAPAN DAY」の売上を寄付

アースキャラバンとタイアップしている「Holy Land Trust」は、キリスト教系の人権擁護団体です。彼らは毎年、ベツレヘム・フェスティバルという、街を上げての3万人規模のお祭りを開催しています。残念ながら、政治情勢の悪化により、今年は開催されませんでした。アースキャラバンは、チャリティーフェスティバル「JAPAN DAY」を、ホーリーランドトラストセンター全館を使用して、2日間に亘り開催しました。そして、浴衣の着装体験、抹茶、巻寿司コーナー、折り紙、ボードゲーム「チャトランガ」、タオ指圧などを提供し、売上げを、団体の運営費用として寄付しました。



2. バングラデシュ・子どもの教育支援金



小学校校舎の屋根修理費 100,000円

アースキャラバンでは2006年より継続して、バングラデシュの仏教徒ラカイン族の子どもたちの教育支援を行っており、現在、小学校を3校運営し、毎月11人の先生方及び2人の仏舎利塔管理人の給料を支払っています。今回、校舎の屋根の修理費として、アースキャラバン2017から10万円を寄付しました。



【アースキャラバン2017 支援金概要】

1. パレスチナ支援

- 1) ガザ地区 浄水プロジェクト基金 761,850円
- 2) フム・エルヒール村 道路整備工事の砂利の購入費 1000ILS (32,000円)
- 3) デーシャ難民キャンプ (障がい児リハビリセンター)
車椅子、補聴器などの備品の補助 1000USD (113,000円)
昼食提供代 950ILS (30,400円)
- 4) ベツレヘム自然歴史博物館 異宗教合同慰霊祭の昼食提供代 730ILS (23,360円)
- 5) アル・アカバ村 太陽光発電装置の設置費 3000USD* (339,000円)

*「アースキャラバン・ヨーロッパ」からの支援

6) 人権擁護団「Holy Land Trust」運営費 2108.5ILS* (67,472円)

*チャリティーフェスティバル「JAPAN DAY」の売上を寄付

2. バングラデシュ・子どもの教育支援金 小学校校舎の屋根修理費 100,000円

※1シェケル32円、1ドル113円で換算

Earth Caravan 2017 収支報告

【総収入額】 5,114,919 円 ■マーケット支援金 1,930,669 円 ■活動への寄付金 2,033,712 円
 ■アースキャラバン事業費 (NPO より拠出) 470,000 円 ■雑収入 550,538 円 ■その他 130,000 円
 【総支出額】 5,107,592 円 ■支援金 (国内外) 1,493,982 円 ■キャラバン運営費 3,613,610 円
 【収支差額】 7,327 円

【ご報告】アースキャラバン 2017 では、パレスチナの各所、ガザ浄水プロジェクト、
 バングラデシュの子ども達への支援のため、総額「1,493,982 円」を送金させていただきました。
 各地のイベントでは、出店者様のご協力のもと、売上の 50%~100%、総額「1,930,669 円」を
 アースキャラバン支援金としてご寄付いただきました。皆様方のご厚意に対し、心より御礼申し上げます。
 広報活動は、記者会見、チラシ・ポスター、CD、DVD、ラジオ出演、ホームページなどの媒体により行いました。
 お陰をもちまして今回もマスコミの取材を多数いただきました。
 なお、スタッフは全員、無報酬のボランティアとして活動いたしました。
 この度の皆様方のご支援・ご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

2017 年 12 月 1 日 アースキャラバン実行委員会 全体実行委員長 遠藤暁及

Earth Caravan host organization



【主催団体・NPO アースキャラバンについて】

名称	特定非営利活動法人 アースキャラバン
設立	平成 18 年 4 月 26 日
事務所	京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367 番地 2
代表者	理事長 野本祐子 (設立時理事長 遠藤暁及)
目的等	人種、国籍、宗教、信条を問わず全ての人々に対して、気と心の学校の開講、 全体の施術、地域通貨の運営、芸術活動、海外援助活動に関する事業を行い、 世界中の明るく豊かな未来に寄与することを目的とする。
事業内容	①気と心の学校の開校②全体の施術③地域通貨の運営④チャリティコンサート、 チャリティ展示会の企画及び運営⑤海外援助活動⑥その他

【沿革】

- 平成 18 年 4 月 26 日 浄土宗和田寺の住職でタオ指圧創始者の遠藤暁及によって設立される。東京と京都で「気と心の学校」、チャリティ施術等を開始し現在に至る。中東の子ども達への支援を開始。
- 平成 19 年度 バングラデシュの子どもたちに対する教育支援活動を開始 (孤児院 1、小学校 2 を開設。以後、毎年継続的に支援)
- 平成 21~22 年度 ハイチ地震復興支援活動
- 平成 23 年 3 月 東北大震災支援活動開始 (物資援助、被災者への定期ボランティア指圧の実施) 「ユニ・チャリティフェスティバル 2011」開催。
- 平成 24 年~25 年度 パレスチナ支援、タイ/HIV 孤児施設への支援。京都センターにて、震災避難者にボランティア指圧施術(月 2 回)、気仙沼避難所にボランティア施術者派遣。「ユニ・チャリティフェスティバル 2012」京都・国際交流会館にて開催。
- 平成 25 年度 フィリピン・レイテ島台風被害支援 (椰子の木募金) アメリカ・オクラホマ竜巻支援金。戦時写真返還プロジェクト (元アメリカ兵が所持していた写真の写真展開催。2 遺族への返還。沖縄タイムス、朝日新聞、京都新聞に記事掲載)、京都・梅小路公園にて「ユニ・チャリティフェスティバル 2013」開催 (チャリティ支援金 978,992 円)。
- 平成 26 年度 バングラデシュの少数民族仏教徒ラカイン族の里親プロジェクトを開始。
- 平成 27 年度「アースキャラバン 2015」広島からスタートし、ヨーロッパ、中東を巡り、エルサレムにて終了。
- 平成 28 年 3 月 1 日 「NPO ユニ」から「NPO アースキャラバン」へ法人名変更。
- 平成 28 年度「アースキャラバン 2016」長崎をスタートし、カナダ、中東を巡り、エルサレムにて終了。
- ◆平成 29 年度「アースキャラバン 2017」終了

【Earth Caravan 呼びかけ人プロフィール】

◇日本
 ・遠藤 暁及 / 浄土宗和田寺住職
 タオ指圧/気心道創始者、ミュージシャン、平和活動家、ゲーム発明家 (チャトランガ) など、様々な顔を持つ。
 タオサンガ・インターナショナル代表 (国内 2 拠点、ヨーロッパ、アメリカ、カナダなど海外 11 拠点)。
 1990 年より、世界 12 か国で、タオ指圧&気心道、念仏ワークショップ等を行う。
 「<気と経絡> 癒しの指圧法」(講談社+α 新書)など、9 冊の著書があり、その多くが数か国語に翻訳出版。

音楽家としては、6 枚の CD アルバムをリリースし、内外のテレビやラジオでオンエアされている。
 アースキャラバン 2015 のテーマ曲「SHARE!」を作词作曲。

オフィシャルサイト: <http://endo-ryokyu.com>

- ・伊藤 憲正 (ito 商会代表、被爆二世) / 広島担当
- ・馬場 山往 / 京都担当
- ・後藤 光妙 / 東京担当

◇ヨーロッパ

- ・アルフレッド・ミュラー/ウィーン阿弥陀センター代表、オーストリア在住
- ・アリス・シュミッツホッフアー/医師 オーストリア在住
- ・オリバー・ストッカー/ドルンビルン・タオサンガ代表 オーストリア在住

◇中東

- ・マガリ・ボシュ/タオ指圧セラピスト イスラエル在住
- ・サミ・アワド/Holy Land Trust 代表 パレスチナ在住

Earth Caravan 賛同者の皆様



吉永 小百合 (俳優), 高橋 源一郎 (作家), 鶴見 辰吾 (俳優), 辻 信一 (文化人類学者),
 ベニシア・スタンリー・スミス (ハーブ研究家), 鎌仲 ひとみ (映像作家), いしいしんじ (作家),
 原田 真二 (歌手), スティーブン・リーパー (翻訳家・元財団法人広島平和文化センター理事長),
 ガイ・ダビディ (映画監督/オスカー賞ノミネート), 藤田一照 (曹洞宗国際センター所長) ... 他多数。
 賛同者数: 410 名 2017 年 1 月 2 日現在 (敬称略、順不同)

Earth Caravan 2018 advance announcement

アースキャラバンは、国籍・人種・宗教の違いを乗り越え、戦争を無くすことを誓い合い、
 その誓いを世界中に発信する世界規模のイベントです。2015 年、2016 年に続いて 2017 年も
 長崎、広島、京都、東京、中東、カナダで開催され、世界各地で多くの反響をいただきました！
 そして 2018 年も開催決定！ ぜひ、あなたもアースキャラバンにご参加ください！



売上の 100~50 % がチャリティのイベント!



チャリティしていただいた支援金は、世界の子どもたちや、
 紛争や戦争によって特に困難な状況にある人々のために使われます。



5/3,5/4 京都 梅小路公園	7/14 長崎	7/21,7/22 広島 中央公園内/レーパー庭園	9/15,9/16 東京 木場公園
------------------------	------------	---------------------------------	-------------------------

山梨、ヨーロッパ・カナダ・中東などでも開催予定！ ※イベントスケジュールや開催は予告なく変更する場合があります。

ボランティアスタッフ大募集!

<http://www.earthcaravan.jp> アースキャラバン

◆Earth Caravan 2018 スケジュール一覧

アースキャラバン イベント

◆日本

- ◎アースキャラバン京都
 【日時】 5/3 (木・祝) - 5/4 (金・祝)
 【場所】 梅小路公園・水族館前野外ステージ 周辺 (下京区)
- ◎アースキャラバン長崎
 【日時】 7/14 (土)
 【場所】 未定
- ◎アースキャラバン広島
 【日時】 7/21 (土) - 7/22 (日)
 【場所】 中央公園内 ハノーバー庭園 (市民球場跡地隣)
- ◎アースキャラバン東京
 【日時】 9/15 (土) - 9/16 (日)
 【場所】 木場公園 (江東区)

※その他、詳細は決まり次第、随時 HP にてお知らせ致します。

アースキャラバンでは賛同者、協賛、後援企業・団体・ボランティアスタッフを募集しています!